

無産団体は大衆化を唱へるが、實際に大衆化の程度が甚だ少くで、其の傍に婦人が参加しにくうのである。故に諸無産団体として婦人を参加得る程度に、實に十分に大衆化の実を挙げさせるためにも男女を同一組織に包含することを望むべしである。(会二七頁)

氏によて婦人の各階級、各範囲等が各自所属すやう無産団体は一應規定されながら斯る規定する實に無意味なものではありか。氏が婦人の政治的闘争をあす機関として認められてあらうところの金正的協議機関は、従つて諸種の無産団体内の婦人部の窓口集会であり、混合機関である。斯る混合機関が全無産階級政治團体に至る合流せぬわけねばあらざる婦人の政治團体の機関として役立たる事は餘りとも自明の事である。